圧がれたことがあらうか、踏君

信愛する學徒諸君、酷君の上

四列縦隊の軍靴の響き

に配し、源客の混んを言葉に 來て、鬱ての敬へ子である生徒 **もまれながら、遙々京城に出て** 

が一心になるのかと反問したく れは 諸君には 心中よく判って なるのであらう。その理由、

然らば、何敬そんなにあんな

君の別則たる意氣、諸君の澄し

洋の天地を我がもの際に横行器

て響微な指揮を被つたのか

然な動室研火を浴びて十四機など、野陰され八磯は火を鳴きつく連走した、わが方地上施設は俺め

**愛教が発信地を重観として全文を一十日敬會召集阻審が公布よられた。屋頂不徹な範疇を粉碎すべく電虹側の各新版通信ならびにロイテル・十二月廿四日東京に召集せらる宣』は決定的な打撃を観に買べてそのますが発信して全文を一十日敬會召集阻審が公布よらな宣』は決定的な打撃を観に買べてそのます。 (常國もまとこれに関へて明年ごそ** 

へこれを國家施策の面に生かすべ 心熱情に 正しい 方向と基準を関

て一月十一

重慶の遺英使節

を一日も早く志願させようと、

生懸命になってゐる。賭君の

に肩を並べて愚笑を共にし からせて、踏岩がこれまで極吹

たる心意が、快適にいきつくの である。蓄君は決して戦争を派

苛なみ、黄色人種と優悪し、東 併計と機関を以つて配細配人を 起ち上るのであらう。而してそ の敵が微十年被百年、あらゆる

脳學徒は今日んである。といふ

今度の整体志順についてヶ半

た蓄君の邑から、面から志願し

り、心身を練磨して來を踏着而 薬を積み、事理を舞へ、世界を知

て六ケ月の訓練生活を終て兵気

青年も、南東諸島の原住民の背

第姉妹さては先生、先輩の終

選るのである。その四別継続の | を統一的にかつ全面的に発行する

見よ、タイの群年も、ピルマの

人がある。何をどう悩んである

かけてある指導者などあらゆる つた例題、諸君に紀大の抑符を の襲しい先生、豁黙の長歌して 一今日はど世の人々の心が打ち

たといふのである。かうした筈

絶大に敵威されるのである。 色を正常に跨示するとき暗君は を飲て、反問したくなる臓に、 **ぬる ことである。**しか しそれ 語の若さがあるのだ。その若

と 思ふのである。 耐かに 耳をも早く 駈けつけたがつて ゐる

し張し。 勝君の正確感に夏烈な 語は落年である。青年は正常 ②敵傷心となって、諸君の五間

> のだ。然るに志願の出し方の 願してある國のものである筈な

がくて諸君がちしゃ私は志願

高の教育を受けた島國臣民たる

決戦場へ進發してゆく姿

に冠せられ、且は國家の高等、日言』といる詞をその墓徒の

ませば心の 関底に 第一級の

大東亜雄融といる場志に沸り、 い問題は閩魂に武者ぷるひして 題の比烈を受してゐるのだ。語

**融たで止むべきへの情報は踏君** 取鮑くなき米英であることを思 歩し、略態の限りをつくして

観、戦場、それは撃ろ諸君の

れ。若し諸君が何かを思辨して れを一関すれば多々たることで

を待つてゐるのだ。諸君が打ち負荷されてあり、號合合が諸君

県亜一億の指導者をるの使命が

の年を選へ情烈な戦闘へ動闘する

ふときゅ米英麗じて魅つべし。

諸君の志願の出し方が遅いこと のか。影響は其管を否定するの

諸君は難む皆がない。

温がゐる。而してそのなかには 天皇陛下萬成」と奉唱して天 戦づてある機萬機干の志願兵諸

**父を、母を見事脱得し得る** 

級の砲墜の中職雨の下に於いて

農軍と共に雄々しく血酸死職を

適けてゐるのではないか。この

常議會もまた烈々たる完成の機運

青年らしい一つの癖にある。と信じて已まない。要は酷君

からさうとられるのであって、

ての現場、その第一線に一刻

蔵の 加味ぎの 威撃。 暗粒は 船路は 養き、 剛かに 目をつぶ

、人が、勝君の中から一人の落

贈られたるにつき十日朝御歌軍な

湖洲國路特性下より御祝電を

火器が火花を節らす獲認な銃砲艦|間で先づ敵第一級を突襲した、

一館が 十一分といふ 類異的な短時

○ いで九日宇劇とも田歌の六十機の敵編隊が再び攻撃を加へて來たが、お歌のわが陣地に來襲、わが地上歌歌は蜀雲器をもつてその「夢な歌」と、わかち歌がはり、八日早朝・お午後いなけては、敵戦爆連合延四十機が同島東端物際猛を極め、八日早朝・お午後いなは、敵戦爆連合延四十機が同島東端、「南太平洋00差坤」、日回盟ノーケンセル島のわな脚地路する敵の攻撃は引續を執

十五機を撃墜バー所必撃

果に優るとも劣らぬ第二次大蔵器

次域の<br />
蘇々たる<br />
就果に<br />
騙する大本 L著へられる、相次で西南太平洋

の昭和十九年度とおける内外護施 | 数米底の呼流するところであるが | 金園い、この架関亜酸が第の決意の昭和十九年度とおける内外護施 | 欧米底の呼流するところであるが | 金園い、この架関亜酸が第の決意

議案に必勝の決意反映

激しい決戦調、議會

艦職接膨運動要網の説明がありこ れが質能に富つては撮影各省とも

部内に於ても特殊の確実的に名き

際の『暈』をもつて主力艦隊を維酸

洋の戦局が一大陸化を強けたこと

筋では今回の凝脱により西南太平 8に能称した、中立國の軍事消息

度がまれてゐたが、ガダルカテル **半陸隊司令ハルゼーは米國海軍**  周章色は優ふべくもない、由來太

いで似田運輸通信次官から配置

下ったのは〇〇の云、やがて二日

つた。わが勇士は日頃の副領を関

5中支軍の帯戯は行動開始以來創

戦の遊ともいふべきものであつた

約二年の兵力を配し日夜高訓練を化半永久的防衛戦地を横襲二ケ師

出でずして早くも敵第六戦闘

期して使加新行動を開始したわ

・陳き江南の平野に安る二日

快能解を續けてあるが、なかんづ

人動木河の敞前設河こそは今次作

を開宿各異面を展つて今や経費の一である信四百メ

【中支前線〇〇十日同盟】秋色心

烈なる敵防御の他大を置して太平、紫氣四大河河などの敵前渡河を掘行1日中幹キロの艦撃をつづけ、短地な密観経過2額行中であるが、まる1日を戦々の避弊を開始した。00巡艦等は東海を乗びて、海底渉戦勢官のクリークを密駆帰継がを設定を海を変いて、海底渉戦勢官のクリークを密駆帰をがあるの基地で1日間豊重闘場を自住する極絶大阪區運に乗り、6000億円がの大きで切りたれが崩瘍各部隊は、駐所に戦助死の

84日2年度の敵第百五十師の最重要機點紅廟に迫り微智猛撃を加へ八日早朝遂にこれを占

四軍の最大敵機點律市を指呼の間に望み解集の主義はいくく戦略をもものがある、なほ闹墓跡漫選でようて最大職は避過と置い四天全型河の堤跡を延済力が訴訟職を渉げんとしたが、策略是期の回じは何んの職務ともならずみそ 敵四

凄絕、霧木河渡河戰

濁流渦巻き弾雨は激し

中制量をうけるに至つたが、最際

年末質與の一部をもつて國際、時 まつ谷口大臓次官より「昭和十八

被り政策を固執してゐるがホワイ

の敗戦に似然として

攻略しようとの作職を耐て敵が太

と報道され在留邦人はもち

4軍の前哨援點プーゲンピル島を

日间盟一米國政府信相

ハウスを纏る米質ならびに米國

よび〇〇工民際はやうやくわが

東京電話コナー日の定例次官会

定例次官會議

敵が不落を誇った定家階、要家橡楊、家殿、熊樹、除家台、東港の呼墨を一

學に居り多大の既果を收

間をうけつくもびるまず敵陣

中立諸國も瞠目す

をがわが方の損害は殆なかつた

モン複域方面の配配多端なるを御昭示あらせられ の事であり特に今回の物語におかせられてはソロー

一盛奮動努力。以テ朕为信俗ニ副へムコトブ期セ

と御室示めらせられた。帝國海軍全勝兵は適々

敵の據點、紅廟・占領

なほ堅壘を續々突破

心記蔵を突破して自及銃剣をか が不何を一気に押し渡り際を没る。

一般間になり中出地際山口湾

分大本感よりこの間傾んで競表された 震放る嫉俗を題つた、仍て十一日午前十一時亡の長を召させられ古質問合敵隊司令長官に対し

今回の敷卧は古墳長官麾下の職合艦隊として初

ののでは、

向つて肉薄する勇士(Basasas)。Gasanに加庭湖西方作戦・洞庭湖畔の草地を敵陣に

司法部の決戦態勢

**籲 控訴院長檢事長會同** 

(刊 日)

誓つて聖旨に副ひ奉らん 敵撃滅の決意新た響響 大學病院御深用

尾佐竹博士謹話

スたる値動を御嘉台あらせられ十一日永野海軍。

つて御微殿の思召からまた職果を第し給ひて親語 は定びくてし賜うだのである。この度の嫐鄙を 「東京電話」 嬰くも 天島陛下におかせられて いめ酸多の國難に際し護部勇亂したる島軍に賜っ **慶餐なる動語を賜つた、日清、日路の南戦役を**は で関うたが、この医古傳統合監察司令長官に第

置を物ともせず必殺の氣分も

院、七歳事長、裁判所側から 旅院長,秋山同檢事長以下七 訴院長級事長魯同を開催、

收藏事總長。 第山東京控訴院長

田高中の長島大器院々長、

上午全國控訴院長、検事長會同

レ影動・食した い形成一なくこれを決定、同九時五十分数一 長谷川台灣總督入京

多かつた。そこへ九日の東京電影

ーゲンピール島神に於ける大

電報はイタリヤ電線の例望が多字。 新貯衞線を衝撃した国次の通り事

【サスポンナ日同盟】ナ日の獨軍の冬季防寒

偉大な日本の海軍力

所詮米海軍に勝算なし 報道したが、プエノスアイレスに

脳新聞がもつてある遠報告にでか

翌七日西南太平洋反腦軸軍司 らの日本海軍の蘇々たる戦果と

ため中立筋の胸心は果然日本海軍

十日第二六日西地の

電波燈 通信機

アメリカ空母二隻騒逐

**東京芝浦** 

**大四日横濱入港** 交換船帝亞丸

通信互業支

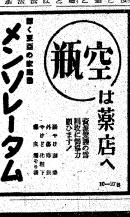
また後質素では國内職 0 は、土首相ら突如拉致 でイスタンプール十日回欧カー では、イスタンプール十日回欧カー では、大学のでは、カートのでは、リールでは、大学のでは、リールでは、カートのでは、 レナー日午後三時外が高から左の 「大学」が、「大学」を発展した。 第二次日本語とした。 第二次日本語とした。 第二次日本語とした。 第二次日本語とした。 第二次日本語とした。 第二次日本語と、 第二次日本語と 第二

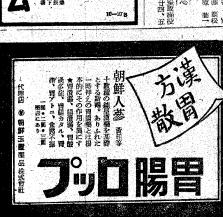
常能質器値を進めて去る二日の として注目される、政府は軍器

上 網絡性所謂今(十日) 是 與賣局事務官 聊谷 鑑 到 简 佐藤 簽校 和汤院格局事務官 柳原 惟一

息

使問題を派遣することに









時無疑順の 設計製圖施工は 傳統と技術を誇る 花村防空設備研究所 大郎 将上町 8 2 電 至 9 5 6 競球・搬山・13・748

黄金襲時の子供懸姫婦對策 所)・南太平洋 方面 明細圖

戦時の適法措置

電、 政時民黨特別法中改正法

(東京衛記) 今臨時職會

運用については司法省局では 時から司法大臣官邸で臨時全局

いび戦時刑事特別法中改正法律の

盲相控訴院長らに要望

大東亞戰爭

明細 地 園 合際北千島の婦人座談會 **★防寒更生毛糸編物集** ★女手で育己公職兵四人の母

▲最後の決をいる婦人なり一般 二周年十二月記 大日本雄辯會講談社

**社絶、フィンシハー** 

ヘン强襲

のは問題ではない、帰しいプザー

が搭頭員篷の耳朶をうつた。擦機

を展開してゐるが、九、十期月中に一

ーセントといふゆ学を示し、海、緻質版では及城附近の工事がとの一つセントといふゆ学を示し、海、大阪の石炭を贈るよりも附近するとで、十月は日本に、ことが強所以とど必要であるとでは、世界に、一つでは、一つで

ラニノスアイレス十日同間 ワー 抑留邦人事件

聯邦檢察局出馬

家を容み間梁をさらひ雲間な田地

開源をごとてくと田間出びにと年立場に襲く、西北一郎な 一山で西なる甲立の町は高燥

炭礦の整理必至

業者の頭腦轉換喫緊

炭煙有鮮朝 談務常藤佐

務問題にしても自由主義時代の切換へが第一に必要である。勢

特派員】中國山脈の屋根

状、野務の確保難が難げられるが生産増弱の有力なるは略として重

資材、勞務の確保

平南の生擴委員會好績

者の好きも工場から工場へ戦々と

【谷山】甘萬斤の樹花烘出を翻館

金で陥つてゆくが、第二次指令ものになる、第一次は第一同時

ほめて
夕親等行と
は の父が、その戦闘を \* \* \* \* \* \* \* \*

農島縣甲立町にて須 意氣示す岩人 盛狂つた町長の匙加減 八群像

のも、「「教養」「おるます。目前はて、「ストードは「川川」「一部」「分類」「遊戯とその後の用水不足によるといる。

さめげるまでには國民

後二路昭和十八年極後続の登取海 域) 小塚は二百十二萬四千石 (二額)

千八百五十萬石

十八年麥類實收高發表

理事語る

古乾原に廣帆

セントの増産高を示

関心をもつてゐるかが判る。果各工場が敷料節約にどの

プー、華上版務委員前の政防、秘賦・別・費・工工工工、 1日間切り 瀬北政称委員 清報出 1日間切り 瀬北政称委員 清報出 機構を改革 清算出來值(對問)

**については九。十四月の重要戦物 ると次の如くである** 戦力増弱の根本電視たる石炭増置。おける増産動積は脳声励闘なによ

更に無煙炭關係打合せ

うに借づいたる飛門長機をがつ 指揮宣機をはじめ明機が、最がい しいわが難局を数下にかばふり だった<br />
だった 友機よしつかり!

新典型/指 · 疾·外 仍 

といれたであるで

あと〇時間で戦場

一機に腰衛されると何かしら繋が輕

いよく戦地間近だ。 木端微塵の重砲陣

突込んでいった

うに眼前に迫つて來る敵陣地に

敵だ、敵戦闘機だ

一觸す蚊群PՑ

のことながら後の領比なわが戦闘 して突進して行く

- 南太平洋〇〇条地にて仁木雅無異重直員会) むが無り顔が密郷は〇月〇日 歌線所含をもつて自覚覚々郎の様置地頭であるフィンシハーヘン飛行場ならびに重視側地を原掘してこる権能、版の出場を廃職、上空画棚の御護機能十歳と左右、そのうち十二様をタンピー

に対の底深く叩き落し全破無事関連した。

舞上る重砲陣

大脈際は次々と要問に物能を治

用外

食器商標 智能を関する 東京下谷属上根界八一加藤製作所

野大地に構造が は大海が またる 共榮圏 〈大陸へ



1



の関策の線に沿ふ

高周波器學專門學院

京都館町一番地十五 日本栄養は砂研分享 次確賞有利。ハガキで申込次彩放研算終早 の製品は印度ます本品は企業流外品改進で 利用。地方にある競物その他の明工製法

十一月十六日午前九時半ヨリ龍所二於テ



一、申込締切一、提出書類 十一月十五日迄二階所男士一般征二申込ムコ

、 東 人 者 日本町原館二加東部 一、 東 人 者 日本町原館三加東部 一、 東 東 人 員 多 東 一、 東東 人員 多 東 一、 東 本 

歌導元 國際新麗研究所



精神力も體力も强い母乳で育つた小供は

森下みや子

日本醫樂研究所 田本醫樂研究所 派流

や新

内科·川兒科

X光線・入院室完備 電本8.647 武橋町五六・京城府廳北一丁

所

京城職業紹介

**持**の信部に 駅テ

京财府中岛青仓町 2 電 話 ② 3 9 0 4 番

|全容||至||会|||三|||壹||新

医学博士

電光671

平松資用其栽培所平松資用其栽培所

家庭で作れる を はるになった。 は本に引きる 節はなは 大変のたなれば、ストもからし ない。のとなれば、ストもからし また。

難率しい数尾版を織けてゐる

電光@2131 現加末假候銀路什有建土未 6

自合先 之之引

の人工栽培 (A 受 書

鹿磯心が終明され生養歌士・歌力増組の掌無必修物養生

、張り廻らす、勞苦

戦制で全通の脳女列車が水害のた 通した、丁度そのとき北鮮一群は

世 以かとして來た、これが私の能識で、一、以かる時光、緊明を唯一無上の樂本を求めて誰に雷り苦慮覺當の後に来 た求めて誰に雷り苦慮覺當の後に

|募集要網|

プーゲンビル局神航空職の職界と「新京特色」「真珠統以來の大職の

- 14 4 1個 猫山路背渡町一メ九一類藤独子で入れる場所では「メ九一類藤独子で入れる」

飛行機増産へ

挺身隊結成權業會前長

しあるがこの生職の死

のが輸送を

松成の重頼込みで既

大日本騎人會力施成以來帶國米曾有ノ離局ニ國シテ式
ク、際力衛足ニ烈フ

の十一日午前九(伊阪)、この有難さ何言葉を理受 **や日奉献記念日 理事及は午後二時半東久世宮示に 東ク側宮妃聰子 上、種々御下間に整管遊ばされた** たほ大日本婦人會山内會長、

に翻訳記の白螺旋取日と足め全」に理解即付けられ、曹務を具さに一にて宮中を御選出遊はされた

以下拜殿に錦湖、梅宮司祝嗣

好御参内。伽奥において島后陛下

総領を中止し、

職就東久興宮妃殿下一家の田勘。職力の増照に赤き鼓心 總裁宮御參內

二勇士&

うみをへたててたたかへ

さのふ明治神宮献詠歌披講式 選歌の榮 大助位果に親王妃 大助位果に親王妃 カー等 百合子殿下 カー等 百合子殿下 かいまに親王妃 **競き複ねし渡るらむ鎮船** 陸軍少佐 - 県仁親王殿下 まもるみくにの船そをを くりむかふる船のたる

一大助位貸に規三妃 助一等・素久子限下 のはものもがてもほつつも作 たを見まもる船のたふ

もかちとりて配すする

大動位吞に王妃

のりこえすすむふねの姿

李鵬公殿下

いくさふねに朝日かか くたひふねはゆききす りする 数一等・直子・関下 をに据にあたぶせかむと見は

みいくさふねのつとめた

いっましきをはみなりかり 競・一般・一番・手 限下 てゆくぶねのさちいの っとめをはたす船したふ

りけり、おきなのこくもををしか

みを京もりのふねそれ

大動位学路公妃 今日もまた病をさしてゆく船 要もらせたまへわたりみ

大東距離下。身を偏毛の軽きに比 一お供へは午前中までにーー 英盤放相原中佐以下の告別式! 競されら、優しの故山に向ふが、

有難き御言葉賜

令旨奉戴日

日婦の光榮

欧米くわたらせ給かと乗るがこの 各宮妃殿下より御殿取遊ばされ御

朝城縣衙州第一盟軍志願書職級所 沸きたづ十五日午前十時卅分から

第一陸軍兵志

京城師圏では信別式参列者に次の の迎へは十五日年

に對する特別志願兵志願者の 朔日辺追し 期日迄に 所在の

司令部又は所在の兵事部 定せられたので顕著の無切

を最密密察艦に提出すればな場合は十一月廿日中に原置 西が必治する見込のない 日たる十一月廿日中に

立派に志願が出來るわけであ

出願手繪きに付ては順書(内・兵事部又は朝鮮集司令部に提

簡単中の内地在影脳鮮人懸在

警察署でも受理學徒志願

は明朝即司令部に於ても監遇・ 原志順書を監理して忠願者の知分の解散所在地所数の取司令・出する職のないやうな場合を知られて知知器に於ても

郷兵場で神式により軍官民多数場

1 山たる湖州軍工業會社でも高崎野道郷の東京の大地に帰行機関道による河州東工業会社でも高崎

お肌の爲に

ピリオク

V

での表記

療治門尊春患毒中

人最高

の譽

榮の受章者半島からも七氏

終出造相次を胎木支雪の処 郷先院能したほか部軍位の一機就

輕励機一機を配約するとになった

本南平線形八千代町

衆後約まれぬ方

【韓軍】 ◆五十回 國防

献 金

見張某體所 

國防献金 一、申込場所

に起き井上寶县の接換をうけた後

荒鷲献納の議相つぐ

れるもので一同は午後一時までに

元陸領上総兵・小島彦石橋門剛元山府本町四ノー三

ひは郷里の本分を全うした歴旦 または曾員として電路に盛しめる 質者は聯合分寶等に十年以上夜 である。今回表彰される官功單受

員である、朝鮮関係分左の如し

四三乙六

忘れられぬ名将の俤

情味

脚、高らかに資歌合唱、萬俊路唱 館成日帰軍添局長は各限を順か

【下開電話】南京に掘棄しきりに一り銀用機「山口駅協和院」の飲約

山口縣協和會半島人の熱誠

欧司令長官に對し財語を賜りたる

**入元帥陛下には十一日古寶縣合総** 

氏石流座美る語

日協和事業開保書紙版會決議によ一瞬間的の燃え上る赤脈は宇部、線一覧について次の如く附る

運動を展開したところ脳内在住半

半島の總意擔つて起て學徒

大は一般に対しています。 大は一般に対しています。 大は一般に対しています。 大は一般に対しています。 一般に対しています。 一般に対していません。 一般に対していまなり、 一般に対していまなり、 一般に対しないまないまなり、 一般に対しないまなり、 一般に対しないまなり、 一般に対しないまなり、 一般に対しないまなり、 一般に対しないまなり。

城宋

社宅、合領、病院、供給所ノ設間アリ 関以上ニシテ年齢継級ニ依り相當協遇ス は、合領、病院、供給所ノ設間アリ 城職業紹介所 (KW)

地人事務6員、工員募集
人者日本監視的様を資本年が工事務地不安北道案外報が採回下の地方は予定とを手上して対象の報告を関する。
一つても関連の報告を関する。
一つてものでは、工具等を集まれている。
一つてものでは、工具等を集まれている。 ● 電氣用無線用 ● 注 計器、測定器 修理、注調整 ・ は は 調整 

京城府鐘路区城北町一三番 暖房裝置 削當貿易約法株

絕對

無譜痛

五日間完治

だ柳病専門の

ものはありません 働く姿より美し P

頭にあることを深く胸に動き

る 銃後は明朗・會計は正確 檢查鑑定•證明•決算

へ /店店 大阪・熊本・函館 開始

私の治療薬を教

軍教用品一式と木銃

平壤稅務研究會

のなめの れる、ことに廿五年動

図が大年動職者の表彰を表 図解水年動職者の表彰を表 る。この網路に掛ける部身 士として四百二名が高

いやうだが過去を振り返って

し競々な事件が走場間のやうに眼 あのシベリヤ出兵 正に鐡道は兵器

道に入ったのが縦路への振り出し を卒業して電は開始网络の財態職||青笛を聞いただけで、今本人あの領 この雕れ島の生活四年半のお陰で

事を促進した、後であへると滅 は国大な役割を果じた 年訓練者の一人として実験を受け 感慨無量のものがあり、今後も身

級の縁爰力増削施設が着々と追抄、主要幹

れ以上いる著へを顧み出せ、

車輪の如き生活 創造、前進にこれ努む 配身の御路公を置ふものである 艦の艦く限り輸送版士として粉愕

る疑記述すること。但し捨扱を附するを要せず

四、等切四和十八年十二月十五日

大震災

示城驛長談 世五年の経

て短くないが、私には非常に短く

をなり、今日まで安戦とすること となり、今日まで安戦とすること

に質めさせてはならぬと感得し、 開業度つい。 一部 材 左配の一又は一以一路 材 左配の一又は一以一路 が 左配の一又は一以一路

五、賞金、一等一篇、一篇以うき三〇〇個
・ 一二、一等二篇、同二〇〇個、三等三
編、同一〇〇國、生甲業時、日ン賞金〇中
分は殿閣を以て喧扈する

大 審 金 左配に交給すー本所、因節組 係官 國民總力研鮮縣黑景母部、研維文人 報題 京加日報社、明維訓練

社に同盟す 高級日

·恤 兵 金 (機算) ▲三百樓 中国源 ※一次九一〇次縣教授号 ※一次九一〇次縣教授号 (港) ▲三十樓 中國派 至二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 五二次縣國北 國防献 中金

三篇尚利作《二十國三十紀

**本懸賞募集** 

校茅亭部 **二元** 町五ブ 

東邦電機製作所 电路本路图片五八九市

會社設立 • 解散 · 清算 島津計理士事務所 中國府池則十一。,地(他則本地 形房四九七一。四九八大書 無料經濟相談所

**永登浦區も翼賛會結成** 

人残らず起て

早く組たせようと十一日午後四時 「兵務務者」「十餘名を一人獲らず選」

の教育と異聚後の歴火の海路等に「大郎県に配演した中區明治町



警察署に も案内係

供と前級附兵の勢苦に感謝する 極次影。第一班長松村思一、三部 人が打削って本社を訪れ感激の歌酒田英夫。大畑白州高一さんの六 前級領兵の外苦に威嚇する 配した「富豪=訪れた強長

の防震、清潔方面にも貢献のの役を承り簡単な問合せな



職の死物至の反対の無常となる。展々を京城丁子最四階に指係す不識の大職果が継がれば繋がる器。三日から廿一日経々家庭の赤十

機措施の適否は暫に國

家庭の赤十字展

明十三日から廿一日迄開く

質はない、結局間の品物を買ふの

公嗣查室主幹) 寒田虎

る週間のみでなく、一年を通じ、

張調座談會協置❸

といるとを相当国く見てをり

いってをるのであります、

滑廠現空場隊象

マーガレットといる名は、ロシア 百百彩ロシア人ではないでせう。

電話本②一四四-

座 日 朝 館畵映信和 場劇央中 場劇南城 座 治 明 場劇8日京 劇

シ環名日土

月やくといこうりおしりにするなどに変に変にできないというの人が高いの人にすることでは、の方や商い配の人にすることできなっています。







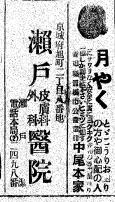
站1個

本二 展ユ書 新 |



タイプ印書 開報資付 東本二天六五









至してある場合の見をどりするがうなるとなく、数いでまこ

圏町悦図礁の李鵬郊の兩氏は十一

日興路署を通じて金七十個を陸軍

村上

松次郎(種)

志願兵に遅れるな

翼賛委員會が激勵へ逞しい 發足

ユース上映などあり歌闘消神を

||輝く戦果に續く献金||

組要関連では十日夜緊急収高さ

対象の
 対象の



と金融の一部であればよいが、

取封じに嚴罰方針

戦時意識の昂揚へ

れの質行といふことになるとなか

出席者

三井物産原文店 小城ビッチ 発浦屋出町

東ケ石域が開始された。 南京 東ケ石域が開始ある。 東大石域が開始ある。

若 一寶

京城倉庫金融

会が表す。 高文卒業程度にして経験者の 女事務 最 採 用

京城日報

城【劇







今月の誓ひは志願兵の激勵

事の胸膜大店即代表

朝

第二故送

2唱劇國『沈清歌』中

志望があるので、

しも特別志願兵たるの資格を與へられるこ

「リスボンセー日同盟」ロンドン

米は物價高、われに負擔大

英、武器貸與狀況に手前味噌發表

獨空軍は増強

**管半島の熱誠に應ふ** 

をも襲ひ、所在の軍事施設を炎上を思るととと同じに短にの約一千の敵を發見、

忽ち三機を血祭り

、機悉で集の好餌

上年の制生権を掌握すると共に地

【3人米ン十1日同盟 軍隊委員和協議員 21日に沿つて前進し 江岸の東衛枝江を占知しる6日本軍の右盟は揚子江岸に沿つて前進し 江岸の東衛枝江を占領しる1部を27日の東

機械化國防協會、翼賛會の傘下へ

全國民に機甲訓練

億に取日 市戦原に 世分京城 に営務取 お願点

**力**握











燐酸カルシウム劑動物質 有機性 燐酸カルシウムなり り抽出せる唯一の動物質 新鮮なる動物の脊椎骨よ 目丁二町慶順區南市阪大 會談經緯聽取

米、加大使を交換

淋 疾に適確奏効

是明明果 (47107) 教産婦と 社會式株業産畑稻 元章取

見です。同語

「ノスボン十・日同思」 微弦な流のの影響によると行動神管関連・を纏る火災階域の数解に著述地中で動成において英地化し、米園で調査は中部域の機能を一切似上するに至った。 と振くられる。 右は米災階間の支援がごとにはも失能化した形において現はれた一切と見られた。 共和黨は二名 ※大統領(候補)
ステインス十一目同盟
カーは明年度大統領(域補)
を対対無額行力医師と
をが、十一目別問題と
をが、十一目別問題と
をが、十一目別問題と
をが、十一目別問題と
をが、十一目別問題と
の時代でもり、対対無数人官代表通過減
明年五月に行ばれるオ
明年五月に行ばれるオ
明年五月に行ばれるオ 4-0

月後

AO 御用中にはアベルクリン反應を録せさらを買しとす 腹具炎、鯨結後、外科結核、其他の結核性疾患、パセドウ氏病、甲状腺腫 飲具炎、鯨結核、外科結核、其他の結核性疾患、パセドウ氏病、甲状腺腫 《陰 性》 よって、その教別形態なり。 (疑 陽 性) おりに経過感覚をよれ意思する (疑 陽 性) おりに経過感覚をよれ意思する (强 陽 性) 結核檢診

作言: \*\*\* · \*\*\*

(解說贈呈) **安元** 建

大阪市 城市 高級 (1) 一种 (1) 一

\$

授式は十二日午後二時から慰

總裁宮殿下台臨 在鄉軍人有功章親授式

【東京電話】帝國在鄉軍人會得功「黥が翻弄室員下から接頭された。 「バノン曹麗江前週以來憲法尚正案」た、 一般、同八階から同意能において郷、完合繁立、主権の総数を試合し、四時から年人資館で非上書長の法、實一数をもってレバノン汎和時 別様式信用が形が行はれ、午後

ンス院「協会員會はレバノン地方」のに正国衝突を來し、同政権は不

法にも武力をもつてレバノン原

ン誘導層化に使ひアルセンチン図「足したども紀へられ、さらに同國(栗東巴西)米図の図デルセンチ」その征※日並の試引上日國行を決

10公司教政品

アルゼンチン温候態度

に似ひアルセンチン図

米國の措置非難

不法、傀儡政権の强壓

(版 內 市)

作業衣など七品 重要鑛工業勞務者へ必需品特配

がなる四百二名に對して表彰版

にかかりて存すること識を使たさ がこの目的

らず、勝子軍レく本部

録道表彰式に小磯總督告節

本、 別宝の各種級部隊に河北衛中本、 別宝の各種級部隊に河北衛中 **真渤地區掃蕩戰** 

大陸輸送の樞軸

戦果を擴大

敵トーチカを猛攻する我が重視 洞庭湖西方作戦

地域なる

東年期障害 東年期障害

合成女性ホルモンたるステルペン基本型を現すが時に制作用の供がある。
エステル型合成女性ホルモンたるオイベスチン錠は作用の特徴性と安全性を有する
スポートの特許製剤である。 生理障害 不快感、下腹部堅 腰疝、下腹部堅 製法特許

1999元 大B216m 武田藥品工業株式會社一統中含有量 O·五٠ ☆100錠 ≥00錠

微調兩君決戦場へ

残棄山牆の半局出身學徒九

歸鮮、待つや遅

文川君に續く 十一名の志願

へ●九名揃つて志願

大戦果に十萬圓

職

場

にも榮光の

道

張今東慰提第一次の敵金を戴き威」・子宮園の敵金」

券證

間に耐へません! と物があり世か

**航空陣容を强化** 

痛洲國交通部に一**友化** 

ツー部として版る間民選っ



鮮魚の

丸公を改正

ら實施

運れの。學士、斷念 しく起つ文元君 山、永田の向書]

感激て一

天臓下寒雪半間の面目にからて、近層間膨胀決の値能を駆すべく脊髄に加みどろの窓った。大大に関村を調査との派ぐましい努力の下に大力と関村を調査という。

神の加護祈り大地に敢鬪

四日・農業増産報國の誓ひ

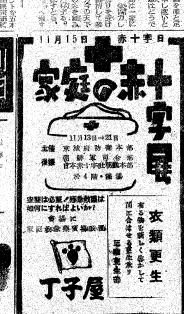
十四から開発は宮華漢領領語で温識療施装置に満式を現行する

志願したこの感激が敵倒

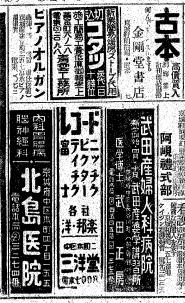
○50 単型 金石 5 三 5 2 8 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5 5 7 5 6 1 5

を実施く 一名 ... 









て來たが、弟の方は船に



医学博士 中橋幸馬 西川明町四一 電光③1960

貸衣裳

では、此の に、此の 戦等三島

西天門 郵便局權入 **十生1天** 泌尿器外科

大和水軍等 豫めそ

何を承はり度う存じます」

助安と同伴で意能した。 主対上級人吉光が、子感新左衛門 の上刻となると、因ノ島の部

元阿鵬四宗職裏通り 洋裁生徒募集

香

會計造資、會社一立會計造資、會社。以上,等等等於於 製作 37

院長 金子雄治 京城益善町三四(吳川兒科跡) 電話光③666 入院室完備

は物質等は 銃後の処めた